
中期利益計画について

(平成28年3月期～平成31年3月期)

FUJI フジ住宅株式会社
平成27年4月30日(木)

目次

- | | | |
|---|---------------------------|----------|
| 1 | 中期業績目標(平成28年3月期～平成31年3月期) | P.1 |
| 2 | 中期利益計画トピックス | P.2 |
| 3 | 分譲住宅事業セグメント | P.3～P.4 |
| 4 | 住宅流通事業セグメント | P.5～P.6 |
| 5 | 土地有効活用事業セグメント | P.7～P.8 |
| 6 | 賃貸及び管理事業セグメント | P.9～P.10 |

中期業績目標(平成28年3月期～平成31年3月期)

中期利益計画の最終年度平成31年3月期の業績は、
連結売上高102,000百万円、連結経常利益6,000百万円、
当期純利益3,900百万円を目標といたします。

(単位:百万円)

	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
連結売上高	88,000	95,000	96,000	102,000
連結経常利益	4,600	5,100	5,200	6,000
当期純利益	3,000	3,300	3,400	3,900
ROE (自己資本当期純利益率)	10%以上			

中期利益計画トピックス

平成28年3月期

分譲戸建の供給拡大と一棟売賃貸アパートの引渡し大幅増加

- ・H27.3月期における富裕層向け一棟売賃貸アパートの好調な受注(受注100棟)を受け、土地有効活用事業の売上高が大きく増加します。
- ・消費税増税の影響が一巡したことにより、自由設計住宅の供給戸数が拡大する計画としています。
- ・中古分譲マンションの仕入価格上昇により、買取り戸数が減少する慎重な計画としています。
- ・賃貸及び管理事業は、富裕層向け一棟売賃貸アパート及び分譲マンションの取扱戸数の増加により、売上高が増加します。

平成29年3月期

消費税の再引き上げによる駆け込み需要

- ・分譲住宅は良質でかつ大型の分譲住宅用地がH28.3月期に販売及び引渡し本格化し、消費税再増税による駆け込み需要が後押しします。
- ・中古住宅のエリア拡大を図り、販売戸数の増加を計画します。
- ・賃貸及び管理事業は、富裕層向け一棟売賃貸アパートの引渡しによるサブリースの戸数が引き続き増加します。

平成30年3月期

分譲マンション事業再開など住宅事業のバランス経営による安定化

- ・分譲住宅事業において、分譲戸建住宅は大阪府下、阪神間の大型プロジェクトの引渡し時期を迎えます。また供給を抑制していた分譲マンションはJR和歌山駅前の一等地で再開します。
- ・中古住宅販売が消費税再増税の影響により前期に比べ減少します。
- ・賃貸及び管理事業は、富裕層向け一棟売賃貸アパートの引渡しを反映して、着実に売上・利益が伸長します。

平成31年3月期

中期利益計画最終年度、売上高102,000百万円を目標

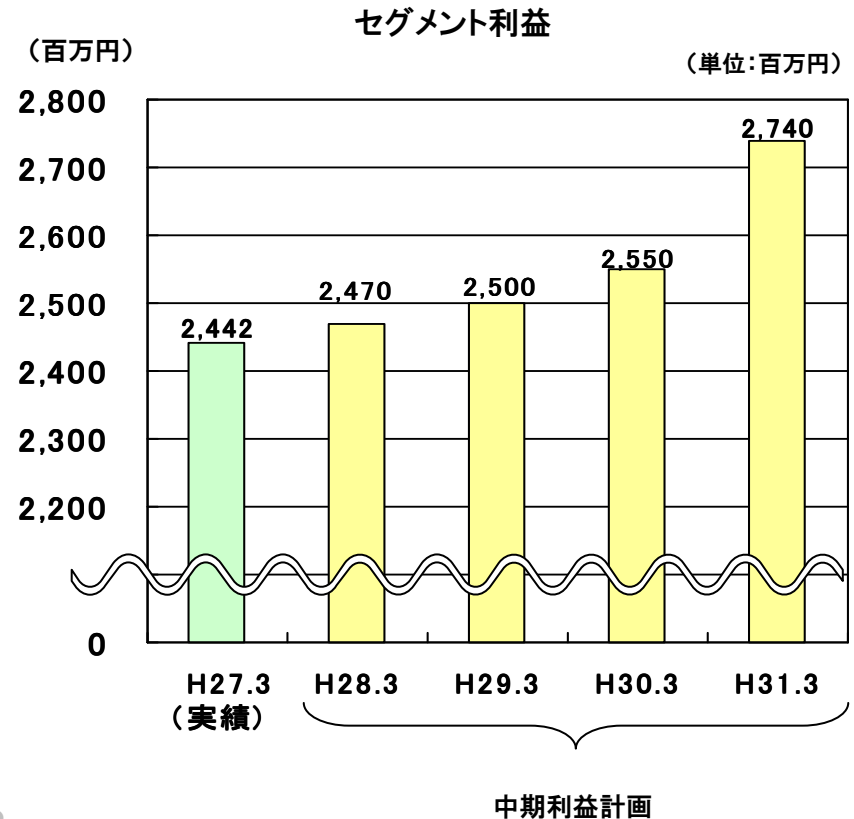
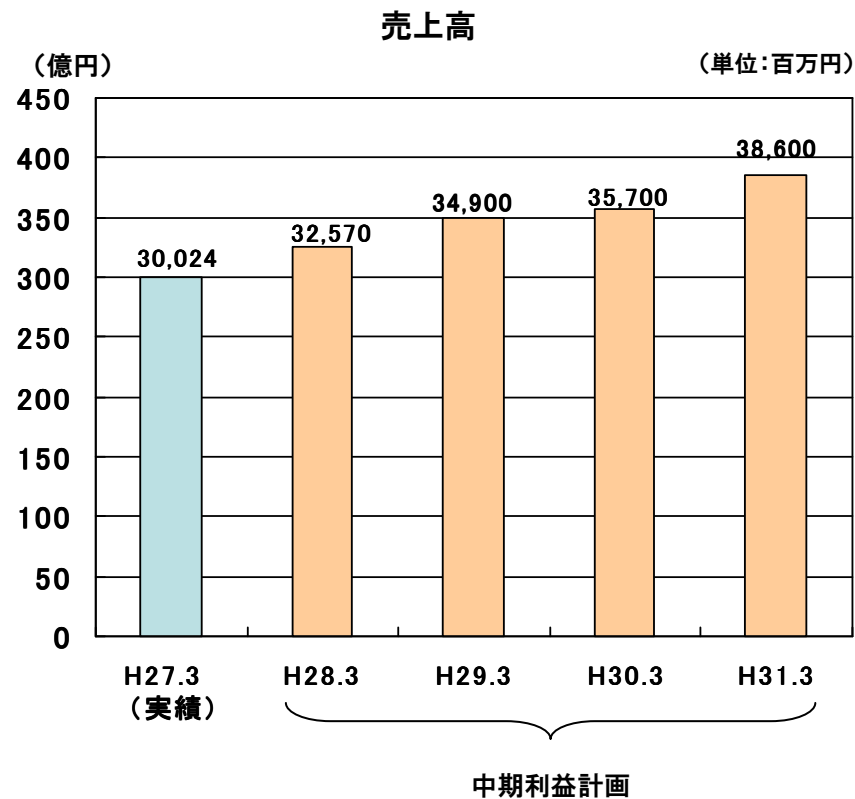
- ・H30.3月期に再開した一等地の分譲マンションの引渡しを開始され、売上高に計上されます。
- ・兵庫県及び奈良県など営業エリアの広域化が定着し、中古住宅の売上高が増加します。
- ・賃貸及び管理事業は、中古住宅アセット事業の収益物件の拡大や富裕層向け一棟売賃貸アパートの引渡しによる管理物件・サブリース物件の取扱増加により、売上高が増加します。

分譲住宅事業セグメント

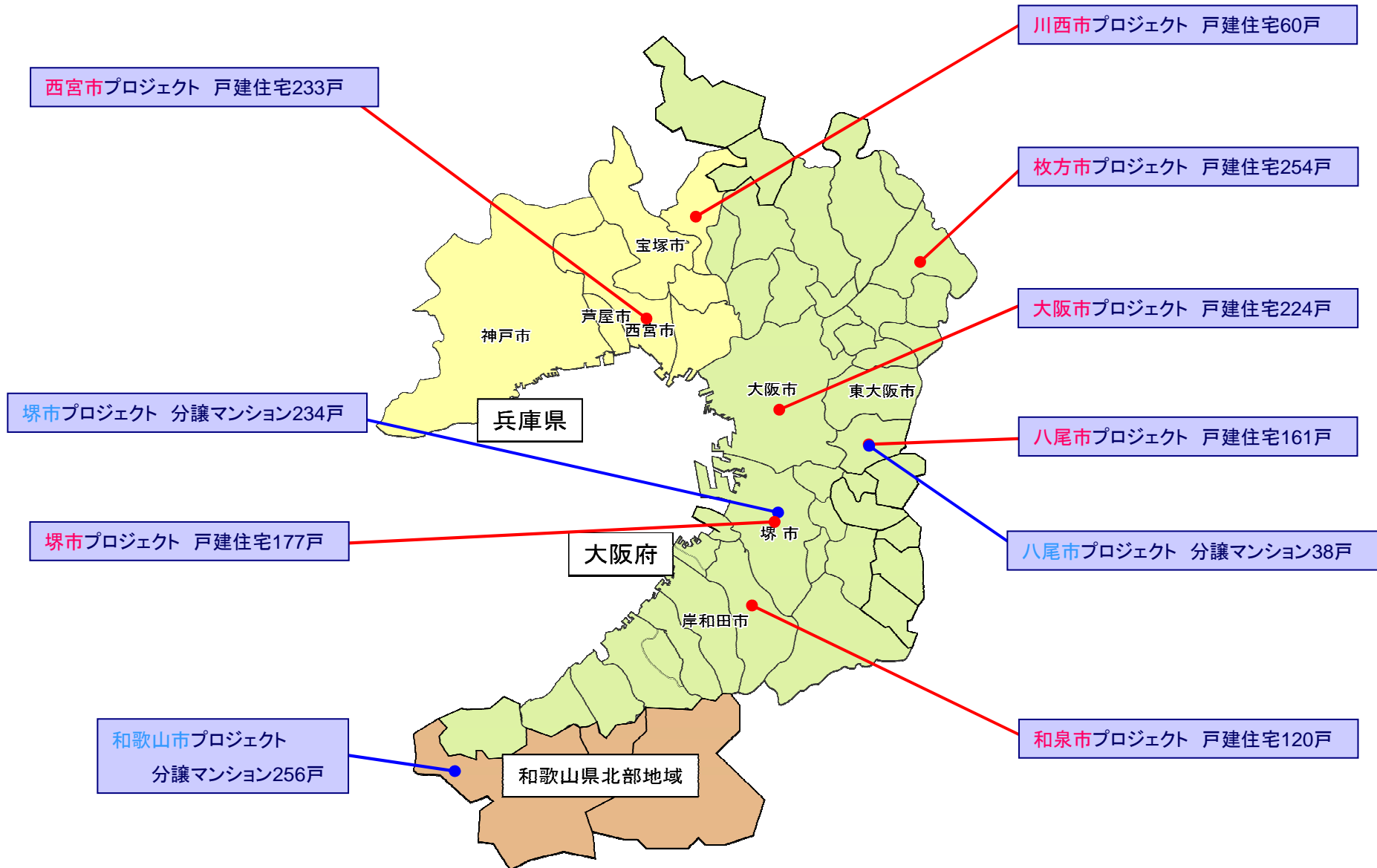
(単位:百万円)

	H28.3月期	H29.3月期	H30.3月期	H31.3月期
売上高	32,570	34,900	35,700	38,600
セグメント利益	2,470	2,500	2,550	2,740

※ セグメント利益は、全社費用控除前の数値です。



今後販売予定の主な戸建住宅・分譲マンションプロジェクト

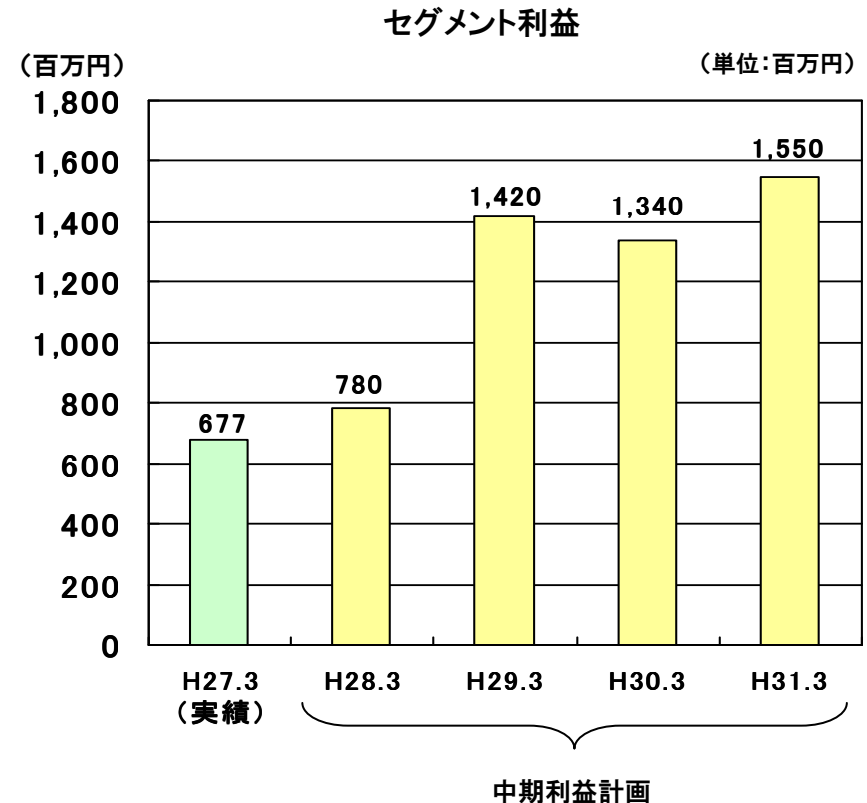
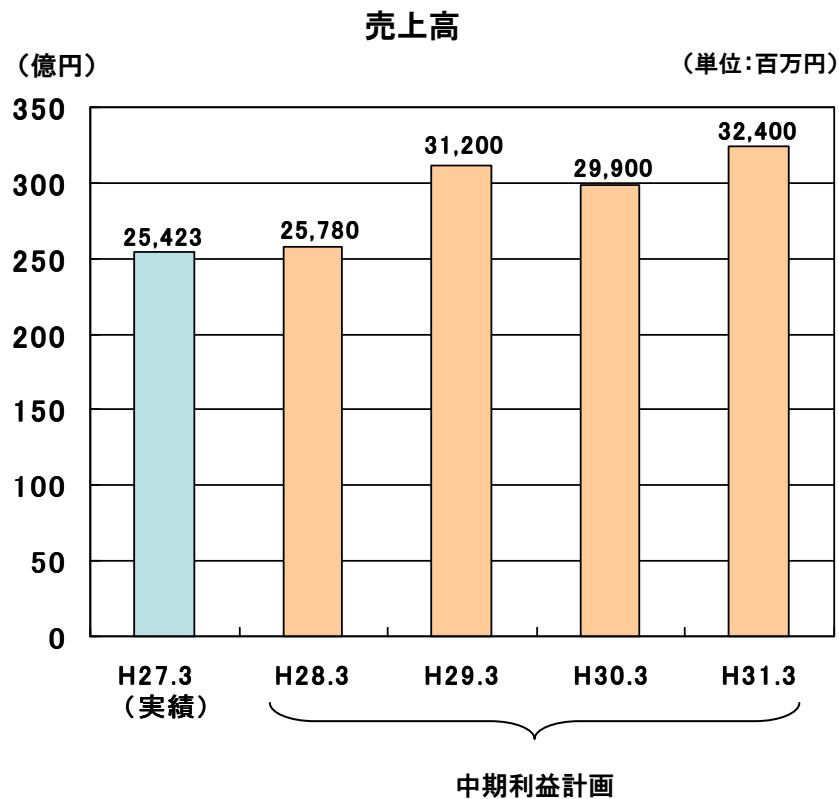


住宅流通事業セグメント

(単位:百万円)

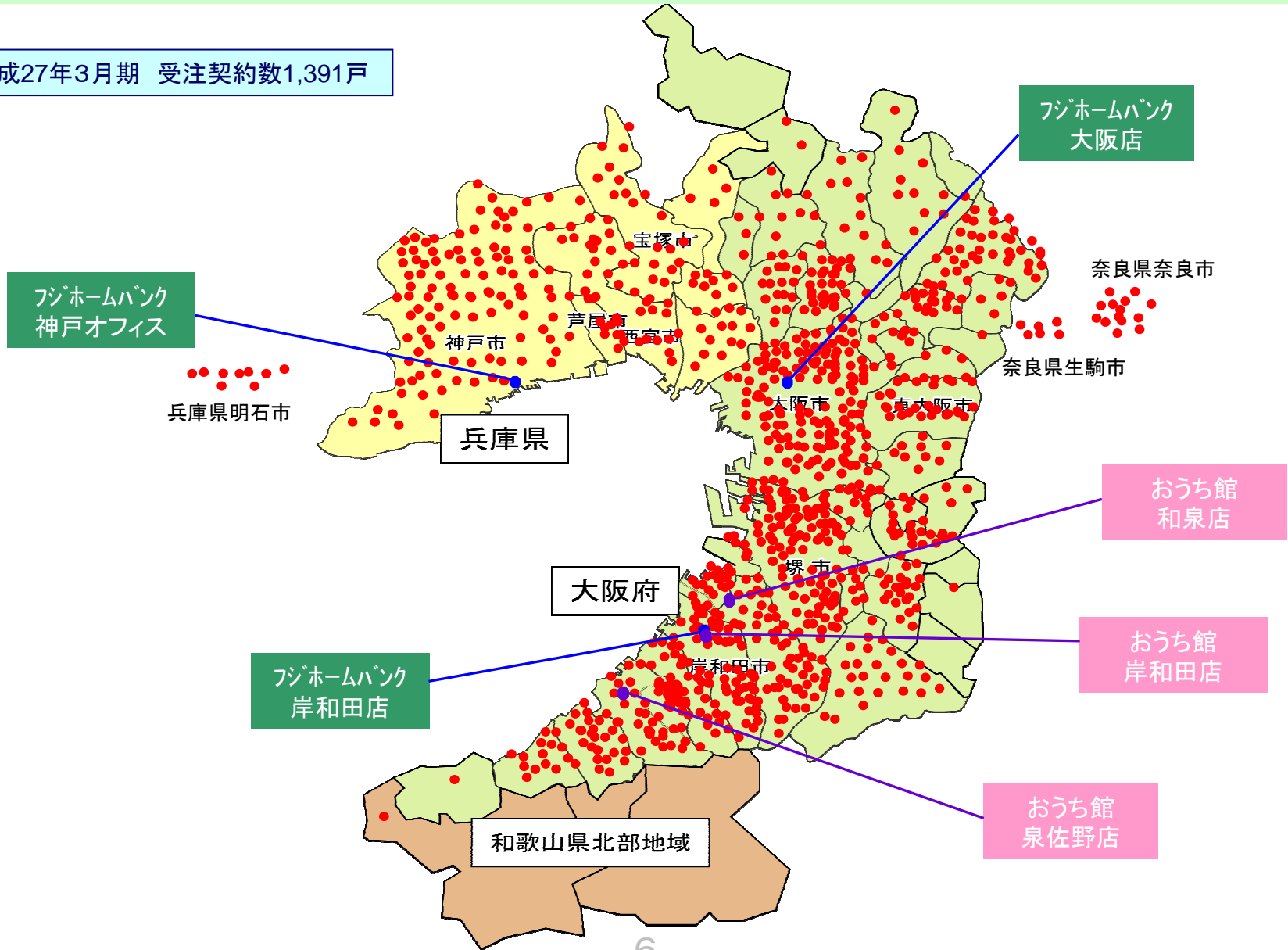
	H28.3月期	H29.3月期	H30.3月期	H31.3月期
売上高	25,780	31,200	29,900	32,400
セグメント利益	780	1,420	1,340	1,550

※ セグメント利益は、全社費用控除前の数値です。



中古住宅販売分布(平成27年3月期)

平成27年3月期 受注契約数1,391戸

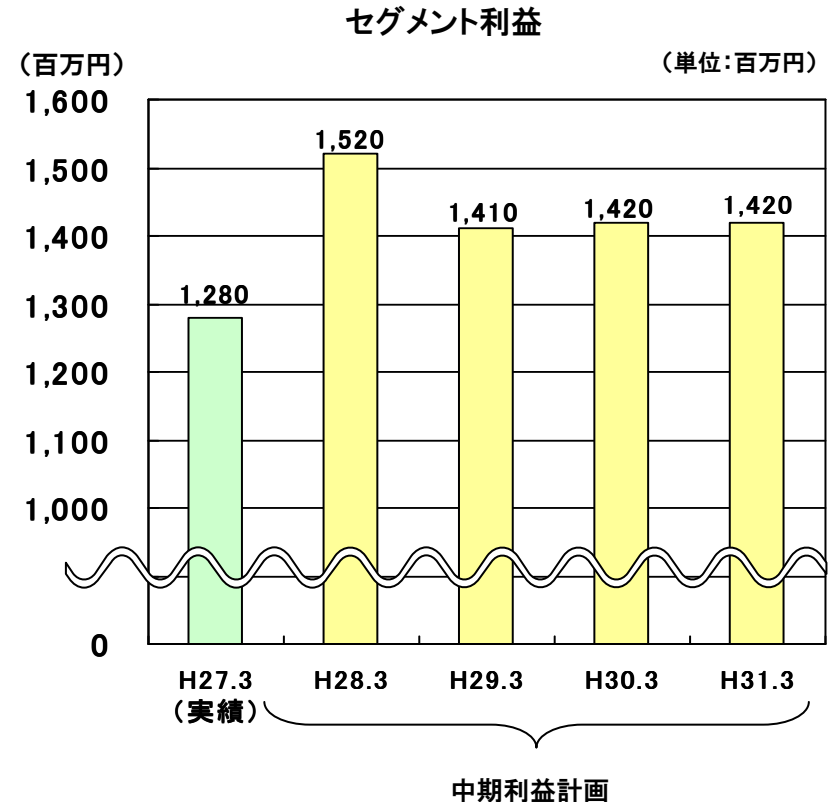
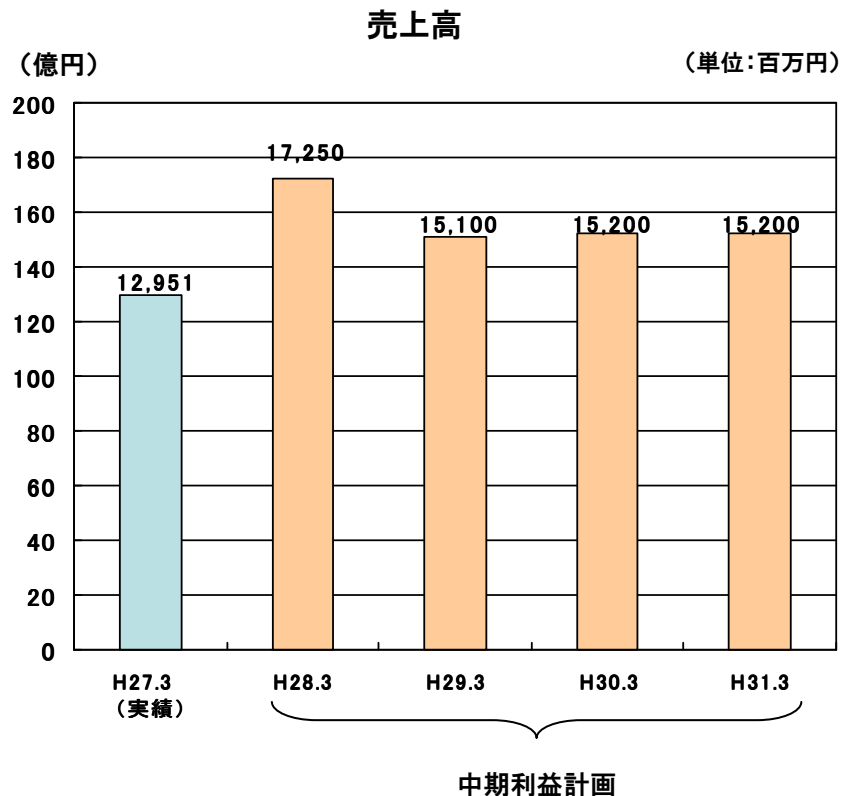


土地有効活用事業セグメント

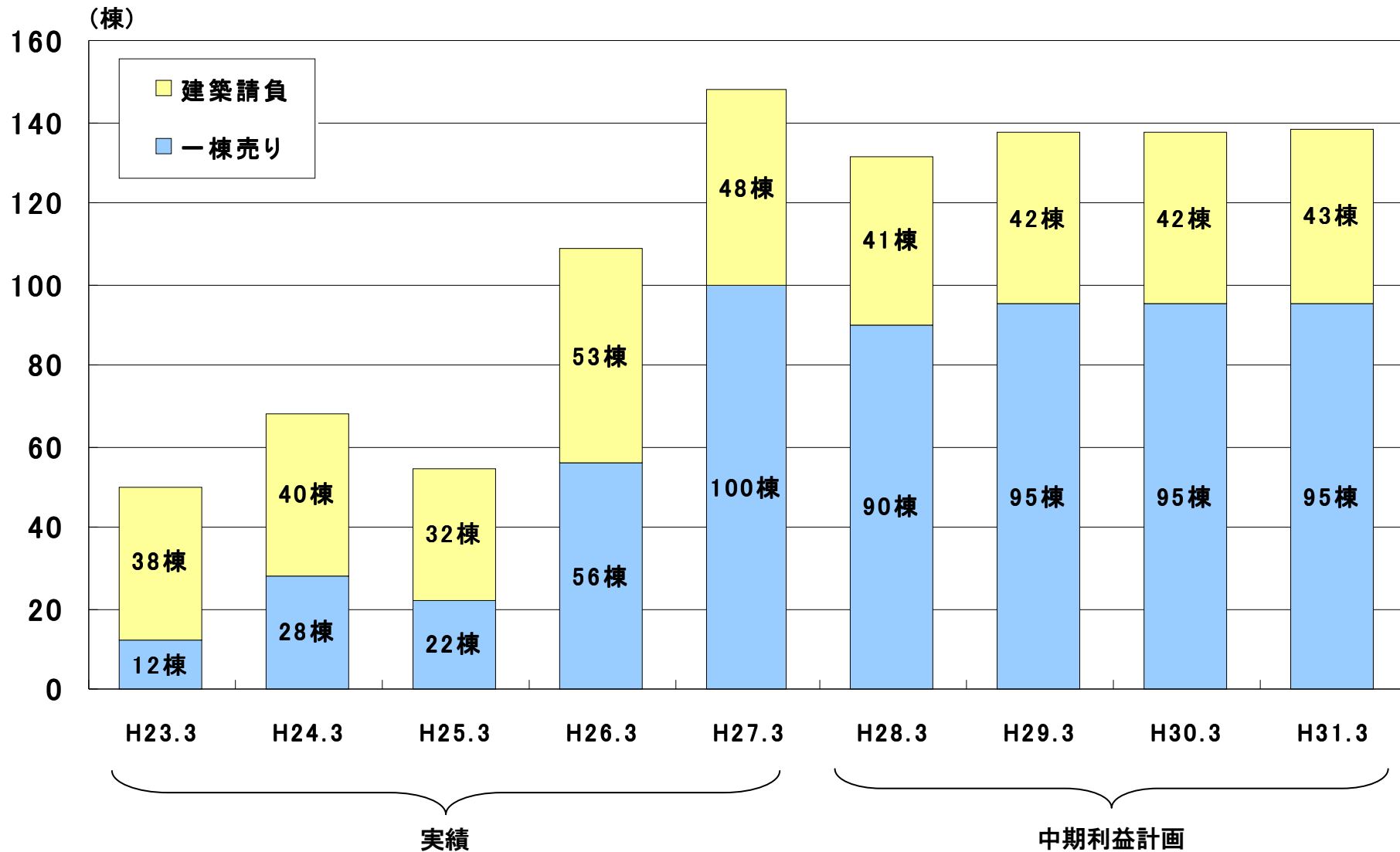
(単位:百万円)

	H28.3月期	H29.3月期	H30.3月期	H31.3月期
売上高	17,250	15,100	15,200	15,200
セグメント利益	1,520	1,410	1,420	1,420

※ セグメント利益は、全社費用控除前の数値です。



一棟売り・建築請負受注棟数の推移(平成23年3月期～平成31年3月期)

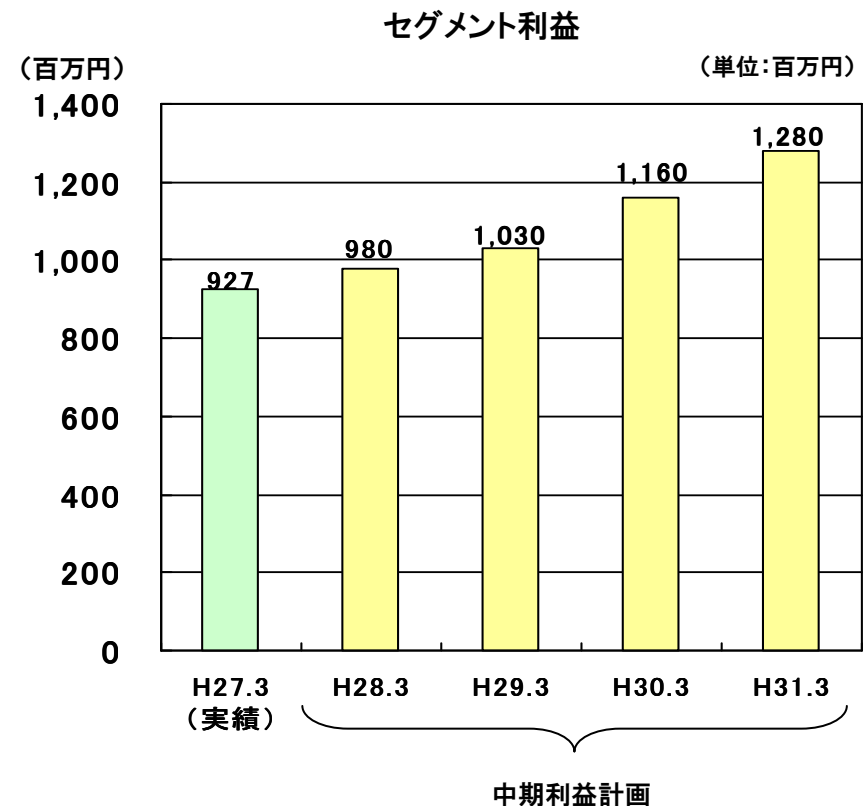
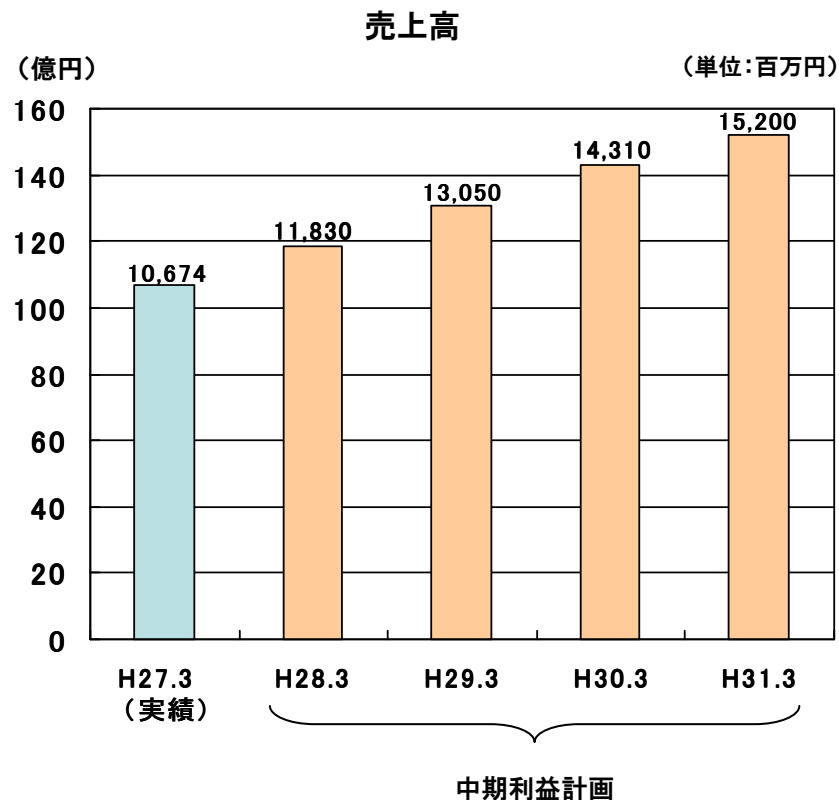


賃貸及び管理事業セグメント

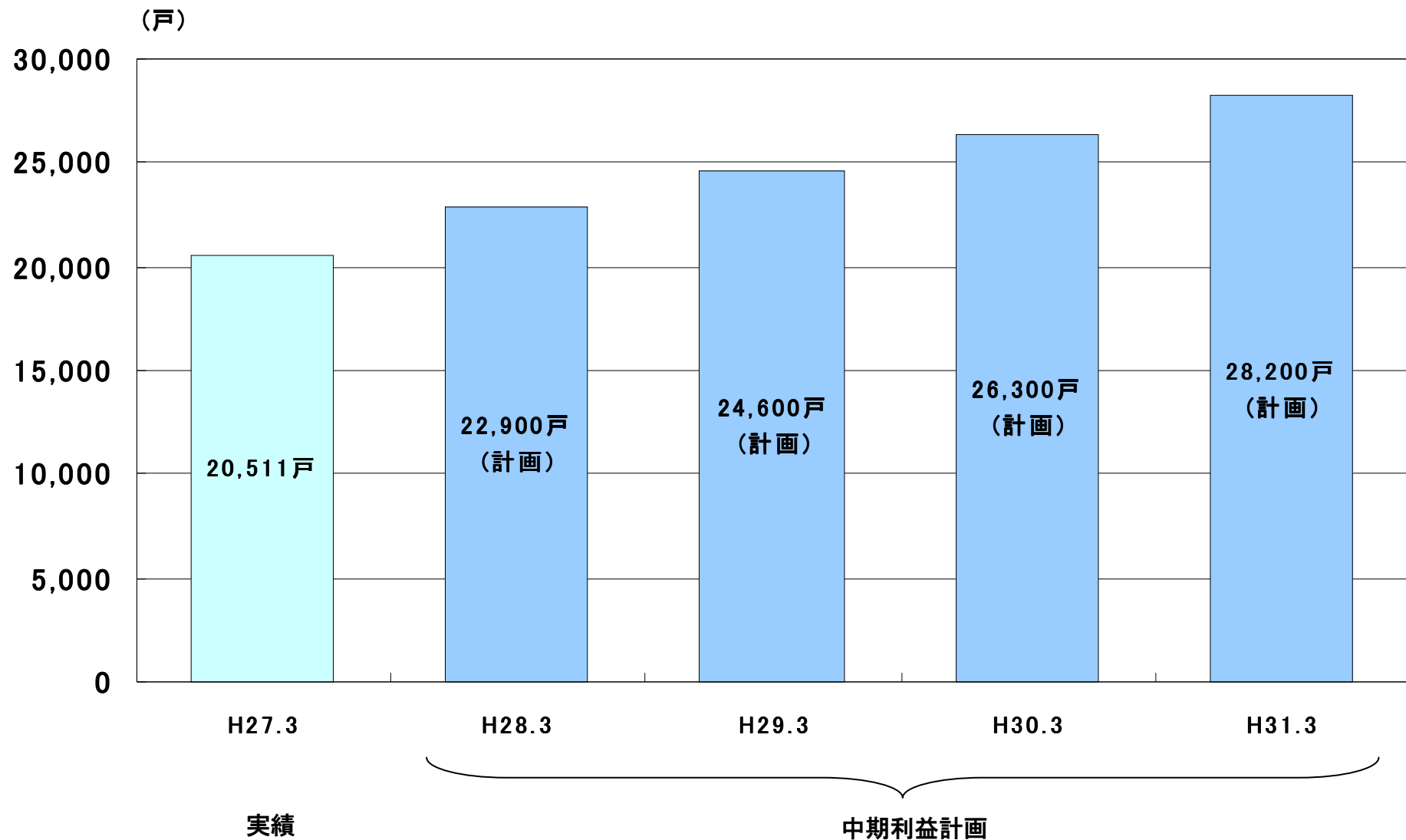
(単位:百万円)

	H28.3月期	H29.3月期	H30.3月期	H31.3月期
売上高	11,830	13,050	14,310	15,200
セグメント利益	980	1,030	1,160	1,280

※ セグメント利益は、全社費用控除前の数値です。



賃貸及び管理 管理物件戸数の推移 (平成27年3月期～平成31年3月期)



本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる可能性があります。